

令和4年12月

NO.59

公立学校共済組合東北中央病院 地域医療連携室・入退院支援室

TEL 0120-703-995 FAX 0120-168-990 代表 TEL 023-623-5111

医療連携につきましては、日頃よりご協力いただき、誠にありがとうございます。

## ▷第24回和GO懇話会

令和4年11月10日（木）大手門パルズで、「第24回和GO懇話会」を開催しました。新型コロナウイルス感染予防対策のため、参加者の皆様には消毒及びマスク着用のご協力をお願いし、会場内では座席間隔の確保と換気を徹底しての開催となりました。関係医療機関の先生方にご参集いただき有意義に開催されましたことに、厚く御礼申し上げます。

### 一般演題

#### 『大腸 ESD での直腸肛門病変への挑戦』

演者：消化器・肝臓内科部長 石濱 活義 医師（写真左）

座長：芳賀胃腸科内科クリニック 芳賀 陽一 医師（写真右）



大腸病変切除の大半を占める大腸 EMR や大腸 ESD、開腹術等の切除方法について解説していただきました。また、癌治療のガイドラインでは癌の診断があった時点から緩和ケアを念頭に治療にあたることが記されており、講演では現在の癌性疼痛に対する薬剤についての説明がありました。そのほか、大腸 ESD の症例については、女性患者の比率が高いことが当院の特徴の一つであると動画にも紹介がありました。大型病変も多く、切除に時間を要するため、患者はもちろん術者や看護スタッフにとっても大変な治療ではありますが、術後の患者の回復が早いことなど、内視鏡的治療の貢献度の高さについてお話しいただきました。

### 特別講演

#### 『最近の消化器病領域のトピックスから ～神経障害性疼痛の治療も含めて～』

演者：山形大学医学部 第二内科

教授 上野 義之 先生（写真左）

座長：大泉胃腸科内科クリニック 大泉 晴史 医師（写真右）



山形大学医学部附属病院の消化器疾患治療の診療科は、消化管、肝臓、胆膵グループに分かれ臨床にあたっています。炎症性疾患や大腸癌、脂肪性肝疾患が増加傾向にありますが、食道癌や肝癌、膵臓癌患者の増減に大きな変化は無く、胃癌やウイルス性肝炎は減少傾向にあります。

山形大学医学部附属病院には、全国でも数少ない重粒子線治療施設（東日本重粒子センター）があります。今年から保険対象となる疾患も増えており、入院期間が短期で就労しながら治療を受けやすいことから、今後は現在よりも更に多くの癌患者へ医療提供が可能となる見込みです。施設内については、利用する患者のストレス軽減のため環境へも配慮されており、東北芸術工科大学とのコラボレーションによって芸術性の高いデザインとなっています。また、県外の患者についても通院負担を緩和できるよう、遠隔診療やテレビカンファレンスの対応も行われています。今後の課題として、治療希望者が増えてきた場合の診療体制をどう整備していくかが挙げられました。最後に、「消化器分野はまだまだ新しい発見がある分野。今後も新しい治療法を絶えず求めていきたい。」とのお言葉があり、消化器疾患治療について大変貴重なお話を聞かさせていただきました。

今後も地域医療の発展のため、先生方の御要望をお聞きしながら尚一層の努力を重ねて参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

